２　地理歴史・公民

学校番号	１０８

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	３単位	年次	２
使用教科書	「地理Ａ」　（第一学習社）・標準高等地図　（帝国書院）						
副教材	新詳地理資料 COMPLETE２０１９（帝国書院）						

１．担当者からのメッセージ

・地図に親しむ。地図帳を開く習慣を身につける。テレビや・ネットから、世界で起きているできごとにもアンテナをはる。

・様々な宗教・文化の違いがどこから生み出されたものなのかという観点を持つ。

・歴史的な知識も、文化を理解する上で必要不可欠。

２．学習の到達目標

・気候や地形の多様性を理解し、そこで暮らす人々の生活について理解するとともに、そこから生まれる文化の違いや多様性を知る。

・文化の違いを理解し、国際理解を深めることで偏見や誤った見方をなくし、国際社会について主体的に考え、行動できる資質を養う。異文化に対する興味・関心を持てるようにする。

・加速する国家間・地域間の貿易など結びつきの変化を理解する。

・地図・地形図に対する理解を深め、さまざまな場面で地図の利用ができるようになる。また、地図上での位置や距離間、交通手段などの変化と結びつきについて理解する。

・地形を理解することで、火山活動・地震など自然災害への理解を深める。

３．学習評価

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．思考・判断・表現	ｃ．資料活用の技能	ｄ．知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する現状理解と問題意識を高め、深く理解しようとする気持ちと、国際社会の中で日本はどのようなことができるかを考えようとする。	現代世界の課題を見いだし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察する。 国際社会の変化について常に知識を深め、広い視野で偏った見方をせず、多様な価値観があることを、適切に表現する。	さまざまな地図、統計、動画、画像などの地理資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的理解を深めるとともに、日々変化する状況を理解する。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な内容や現状を理解する方法を考察し、その知識を身に付け、さまざまな場面で活用できる。
評価方法	地図作業 レポート 授業プリント	定期考査 （年５回実施）		定期考査 （年５回実施）
		〔主題学習〕 レポート 夏期課題	〔主題学習〕 レポート 夏期課題	
	※〔主題学習〕とは、主題を設定して行う学習活動で、適切な時間設定を行う。			

上に示す観点に基づいて、学習単元ごとに評価し、学年末に５段階の評定を出します。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価を行います。

４．学習の活動

学期	単元名	学習項目	主な評価の観点				学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1章地球儀や地図でとらえる現代世界	①球面で世界を考えよう	○	○ ○		○	a，ｂ：グローバル化が急速に進んでいる現在、平面ではなく、世界を地球という球面で考えていかなければならないことを、地図作業を通して学習する。 ｂ，ｄ：地球儀上の位置の示し方（経度・緯度）や時差を理解し、時差の計算ができるようになる。	・提出課題 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
		②世界地図の特徴を知ろう		○	○	○	ｂ，ｃ，ｄ：メルカトル図法，正積図法，正距方位図法の成り立ちを理解し、その特徴と欠点、適した図法を選択できるようになる。	
		③世界観の広がりと地図	○			○	a，ｄ：世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきたことを理解し，現在見られる衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現の役割を理解する。	
		④国家の領域と領土問題		○	○	○	ｂ，ｃ，ｄ：国家とは何かを考える。また，ネット等を利用し、世界の領土問題について調べる。	
		⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦情報・通信で一体化する世界		○	○	○	ｂ，ｃ，ｄ：交通・通信の発達により、生活，社会，産業などの関係がどのように変化してきたかを、教科書にあるさまざまな主題図などを活用しながら理解する。	
		⑧人・「もの」・資本で結びつく世界		○	○	○	ｂ，ｃ，ｄ：人・「もの」・資本の移動により、国際貿易、国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解する。	
	2章世界の人々の生活を取りまく地球的環境	①さまざまな環境の中で暮らす人々	○ ○	○ ○		○	a，ｂ，ｄ：人々の生活様式の多様性を、地理的環境とのかかわりから理解する。 a，ｂ：世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき、現在のような分布になった理由について、関心をもって学習する。	・提出課題 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
		②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活		○		○	ｂ，ｄ：世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ、なぜ差異が生まれるのか、人間生活にどのように影響しているのかについて理解する。また，雨温図を作成する作業をとおして、世界を各気候区分に分類する技術を養う。	
		④世界的視野から見た気候		○		○	ｂ，ｄ：さまざまな地形上で営まれている人々の生活とそのかかわりについて学習する。	
		⑤世界の気候と生活	○	○		○	a，ｂ，ｄ：世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり，どのような生活が営まれているかを学習する。	

2学期		⑥世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a，c，d：世界の人々がもつ民族性や言語，宗教を教科書に掲載されている写真・地図を使用して理解し、現在発生している民族問題の本質を考察する。 b，d：世界の農業について、発達過程を地理的環境との関連で理解し、現在の分布状況や統計資料とあわせて考察する。	
	3章　世界の諸地域の生活・文化と環境	①東アジアの暮らしを学ぶ ②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジアの・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a，c，d：世界各地での人々の生活・文化は、その地域の長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視せず、教科書の写真・地図を読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。 NHK などの動画教材を積極的に利用し、諸地域の現在の特徴を理解する。 a，b，d：中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の相互依存関係について考える。 a，b，d：韓国について，第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境、韓国の社会や生活・文化に注目し，大衆レベルでの日韓交流と将来の日韓関係について考える。 a，b，d：農業に大きく影響する自然環境や，現在の民族・宗教分布とその背景を学習し、伝統と高い経済成長による変化ついて理解を深め、日本とのつながりを考える。 b，c，d：ＡＳＥＡＮの結びつきについて作業を通して理解し、東アジア共同体の実現に向けた展望と課題について、話し合う。 a，b，d：インドを中心とした南アジアという地域に注目し、そこに暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び、特に宗教と密接に関連したインドの生活と変化について，理解を深める。 a，b，d：ムスリムが多く暮らす北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしに注目し、乾燥帯、イスラーム、石油という地域性を知識として身につけ、パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深める。 a，b，d：ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカの理解を深め、現在の国家や産業に残る植民地支配の痕跡や、現在も依存関係があることを、具体例などから学び、その課題に向けて採られている対策を理解する。	・提出課題 ・ノート提出 ・小テスト ・定期考査
		⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ	○ ○	○ ○		○ ○	a，b，d：ヨーロッパの中の自然環境の違いやたどってきた歴史の違い、地域性を学び、一体化の進むヨーロッパ社会の現状を、ＥＵの結びつきの過程などから理解する。 a，b，d：移民の国アメリカ・カナダに注目し、アメリカの移民社会と現在の多文化社会の特徴が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解するとともに、アグリビジネスやＩＣＴ産業などアメリカの先進性について理解を深める。	・提出課題 ・ノート提出

		⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ	○	○		○	a，b，d：先住民や移民、混血など多様な人種・民族からなるラテンアメリカの社会について、先住民の生活・文化や混血の国ブラジルと日系移民の歴史・生活、白人国家アルゼンチンなどを具体例に、その地域の課題も含めて理解する。	・小テスト ・定期考査
		⑩オセアニアの暮らしを学ぶ	○	○		○	a，b，d：太平洋諸島も含むオセアニアについて、その位置関係、自然環境、民族移動の歴史を学び、多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に、他地域と結びつきを強めているオセアニアについて考察する。	
3学期	4章 私たちが直面する地球的課題	①地域の違いとつながりに注目する		○		○	b，d：現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。	・提出課題
		②人口問題－対照的な人口増大と少子・高齢化	○	○	○	○	b，c，d：各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やネットなどで調べる。 a，b，d：人口問題について、先進国の少子・高齢化，発展途上国の人口爆発という対照的な問題が起こっていることを理解する。	・ノート提出 ・小テスト
		③食料問題－食料需給のアンバランス	○	○		○	a，b，d：食料問題について、食料分配の不平等さが飢餓と飽食の地域差を生み出していることを理解する。	・定期考査
		④地球環境問題－２１世紀は環境の時代	○	○		○	a，b，d：地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。	
		⑤地球的課題への取り組みと国際協力	○	○			a、b：国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し，国際協力について，グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。	
	2章 自然環境と防災	①日本の自然と生活		○	○	○	c，d：教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察する。 b，d：地形の状態に応じて暮らしてきた日本の村落・都市立地を理解し、江戸時代以降，地形を改変して生活環境を変化させてきた人々の暮らしがどのようなものになっているか考察する。	
		②自然災害に備えた暮らし	○	○	○		a，b，c：自然災害に備えるために、ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解し、災害に見舞われた際になるべく減災できるために個々人ができることを考える。 a，b，c：自らが住む地域のハザードマップをネットや、市役所で発行しているハザードマップを入手し、最も起こりやすいと想定されている災害ついて考え、減災に向けた取組について調べる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。